

学校だより



若葉

令和2年3月2日
野田市立東部中学校
第11号



惜別

校長 桑原 伸幸

卒業の日が近づく。教師も生徒も別れたくないのが本音である。しかし、別れの日はずら来る。「私は彼らに何をしてあげられたのだろうか。」精一杯やってきたつもりでも、いざ最後の日が近づくにつれ、自らの至らなさを痛感する。

「故人西の方、黄鶴楼を辞し 煙花三月揚州に下る 孤帆の遠影、碧空に尽き 惟だ見る長江の天際に流るるを」・・・この時期、決まってこの七言絶句を思い出す。李白の「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」という題の句だ。友人である孟浩然を乗せた船の帆が水平線に消えてもなおその場から動くことが出来ない。李白の惜別の念が、大陸の雄大な風景に負けないほど伝わってくる。

私たちは、未熟である。きっと充分でない。だから、最後の最後まで思いを伝えたい。最後の日、彼らの背中が、校門の遠くに消えるまで・・・。

3月の行事予定

2 (月) 千葉後期入試 スクールカウンセラー

※3月3日～3月13日まで臨時休校

4 (水) 茨城公立入試

6 (金) 千葉公立発表

13 (木) 茨城公立発表

16 (月) 卒業式

20 (金) 春分の日



24 (火) 修了式

25 (水) 学年末休業 (～3/31)

学年始め休業 (4/1～5)

今後も新型コロナウイルスの拡散防止に伴い、予定の変更があり得ます。今後の情報については学校ホームページとマチコミメールで配信します。

ウィンタースクール大成功

2年生は2月2日から3日間、福島県羽鳥湖スキー場でウィンタースクールを行いました。初めのうちこそ、スキー板を装着するだけでも時間がかかっていた生徒が目立ちましたが、2日目、3日目と進むうちに滑れる生徒も増え、貴重な体験となったようです。



2年生に話を聞いてみると、夜の学年レクや部屋でやったカードゲーム、仲間と一緒にの夕食やお風呂など、一つ一つの場面が、かけがえのない思い出になったことがよくわかります。リーダーを中心に培った団結力は、東部中を牽引する2年生にとって、パワーの源になることでしょう。



新入生保護者説明会

2月7日 (金)、令和2年度に新1年生として東部

中に入学してくる予定の6年生児童と保護者を対象に説明会が実施されました。保護者には中学校の説明、児童は国語・算数のテストと面接、最後に『情報モラル講演会』を行いました。保護者からの感想の中に、「中学生からの説明がわかりやすく、東部中学校の様子がよくわかりました」と書いてくださったものがありました。このことを、説明を担当した生徒たちに伝えると「頑張って練習してよかった!」と、どの生徒もとても嬉しそうでした。

この日は最近には珍しく寒さの厳しい日でしたが、新入生の保護者が温かなまなざしで東部中の生徒を見てくださっていることを感じ、私達職員の心にも優しい春の風を届けていただいた思いがしました。

進路の概況 3月2日の千葉県公立高校後期入試（発表6日）と4日の茨城県公立高校入試（発表13日）が終了すると、3年生全員の卒業後の進路が確定する見込みです。すでに進路での夢実現を果たした生徒が多くなりましたが、これから入試に臨む仲間を学年一丸となって支えようという意識が強く、今も3年生の教室には緊張感が感じられます。

さて、今年度も公立志向の傾向が強く、本校では進学志望生徒の82%が、第一志望として公立の学校に志願しました。新聞等でご覧になった方も多いと思いますが、千葉県公立高等学校の前期入試問題を見ると、1年生から3年生までの学習内容がまんべんなく出題されていることがわかります。つまり、1、2年生の範囲から3分の2が出題されるわけです。この傾向は他県や私立校の入試問題についても同じです。1、2年生も、今の学習内容（毎日の授業や家庭学習）が、そのまま自分の進路決定に結びついているのだという自覚が大切です。また、現2年生の入試から千葉公立の「前・後期制」が見直され入試が一本化されることや、私立高校等に通う生徒の*就学支援金の上限額引き上げを含む制度改正などもあり、進路選択に関してはこれまで以上に情報が大切になりそうです。（*詳細は文科省のHP等を参照）

しかしそれでも、大切なことはこれまでと変わりません。学習に、部活や委員会活動に、日々地道に努力を積み重ねること、入学後や上級学校卒業後の生き方を視野に正確な情報を入手し適切に進路選択に臨むこと、これらを今の3年生の背中から学んでほしいと思います。

令和元年度卒業証書授与式 ご案内の通り、令和元年度の卒業式は3月16日（月）9時30分に変更となりました。来賓及び在校生は参加しません。（右写真は平成29年4月の入学式の様子）

初々しい姿と元気いっぱいの返事が印象的だった、写真の入学式がつい昨日のことのようですが、あれから早3年が経ちました。その間に3名の新たな仲間も加わりました。中学校生活で多くの仲間と切磋琢磨し、様々な経験を積み、たくましく成長した卒業生は、この日を境に新しい人生を歩んでいきます。義務教育修了という大きな節目を迎える58名の旅立ちを、厳粛な中にも温かさにあふれた東部中らしい卒業式で、保護者の皆様と私たち職員で祝福したいと思います。



なお、野田市の方針として、保護者の参加は卒業生一人につき2名までとなっております。ウイルス等拡散防止の為の対応ですので、ご協力をお願いいたします。

1年間ありがとうございました 本年度も、本校の教育活動におきまして、保護者の皆様に多大なるご支援ご協力をいただきました。感謝申し上げます。来年度も東部中学校は、地域とともに歩む学校として取り組んでまいります。